



平成 31 年 4 月 26 日(金)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 河崎 晃二

# 開四小だより

## 5月号

平成から令和へ

校長 河崎 晃二

新学期が始まってからひと月が過ぎ、風薫る新緑の季節を迎えました。校庭の桜は緑に変わり、子供たちは、学校生活にも慣れ明るく元気に過ごしています。1年生は「1年生を迎える会」を終え、すっかり開進第四小学校の一員になりました。また、6年生が1年生のお世話や委員会活動、クラブ活動においてリーダーシップを発揮し、学校全体を活気付けてくれています。

\*

さて、この連休中に天皇陛下が御退位され、皇太子殿下が新しい天皇へ御即位されます。そして、元号が平成から令和へと変わります。テレビや新聞では、平成を振り返る特集を多くやっています。平成では、インターネットやスマートフォンが普及し、様々な情報を瞬時に得られるようになりました。いわゆる「情報社会」です。しかし、情報が溢れることにより情報に振り回されてしまう弊害も出てきています。そこで、それを改善するため、日本では新しい社会「Society5.0」の実現を目指しています。

「Society1.0」は狩猟社会・「Society2.0」は農耕社会・「Society3.0」は工業社会・「Society4.0」は情報社会です。そして、「Society5.0」はそれに続く新しい社会で、モノのインターネット（IoT）や人工知能（AI）などの最新テクノロジーを活用した便利な社会です。

来年度から完全実施される新しい学習指導要領では、この新しい社会「Society5.0」における求められる人間像や学びの在り方が示されています。

日々の学習を通して「文章や情報を正確に読み解き、対話する力」「科学的に思考・吟味し活用する力」「価値を見つけ出す感性と力、好奇心・探求力」等の力が身に付くようにしていきます。つまり、知識や技能を身に付けるだけでなく、困難な課題や予測できない変化に主体的に向き合い、周りの人と関わり合いながらこれまで獲得した知識や技能を活用して解決していく力です。

私たち教員は、子供たちにこれらの力を身に付けていくために、これまでの授業の取組の実績や蓄積とつなげながら、授業を改善していきたいと考えています。

ご家庭でもこの新しい社会「Society5.0」について子供と一緒に考えてみてください。そして、新しく迎える「令和」の時代をよりよくしていきましょう。

\*

大型連休にあたり、楽しい行事を計画なさっているご家庭が多いかと思えます。子供たちの生活が不規則になり、連休明けに体調を崩すことのないようご配慮ください。よろしくお願いたします。